

発行/青森県今別町 編集/総務課企画担当 ☎ 0174(35)2001 FAX 0174(35)2298
今別町ホームページアドレス <http://www.imabetsu.net.pref.aomori.jp>



県中学校総合文化祭で荒馬披露



11月10、11日に青森市民文化ホールを主会場に開催された青森県中学校総合文化祭舞台発表において、今中生が郷土芸能「荒馬」を披露しました。

また、9に行われた東郡英語弁論大会創作の部で優勝した、澤田大樹君(3年)が英語弁論で「Our Calling」を発表しました。

平成18年度今別町褒賞授与式

相内 寛氏、故 神與佐雄氏、故 平山順一氏が褒賞受賞

11月1日、平成18年度今別町褒賞授与式が行われ、相内寛氏（二股）は自治功勞。神與佐雄氏（奥平部）は納稅功勞。平山順一氏（大川平）は自治功勞を受賞されました。相内氏は、昭和35年3月から昭和43年3月まで2期8年町議会議員を努められ平成7年9月から平成15年12月まで町監査委員として長きにわたり、地方自治の振興にご尽力され、11月1日、平成18年度今別町褒賞授与式が行われ、相内寛氏（二股）は自治功勞。神與佐雄氏（奥平部）は納稅功勞。平山順一氏（大川平）は自治功勞を受賞されました。相内氏は、昭和35年3月から昭和43年3月まで2期8年町議会議員を努められ平成7年9月から平成15年12月まで町監査委員として長きにわたり、地方自治の振興にご尽力され、この度の受賞となりました。



左から小鹿町長、神信友氏、相内寛氏、平山てつ氏、長島副議長

受賞者功績

相内 寛氏 自治功勞
今別町議会議員
昭和35年3月～昭和43年3月
産業建設常任委員長
昭和39年4月～昭和43年3月
今別町固定資産評価審査委員
平成5年12月～平成8年12月
今別町監査委員
平成7年9月～平成15年12月

神 與佐雄氏 納稅功勞
奥平部地区納稅貯蓄組合長
昭和30年4月～平成16年3月
町納稅貯蓄組合連合会副会長
昭和61年4月～昭和62年3月
町納稅貯蓄組合連合会会長
昭和62年4月～平成16年3月
青森県納稅貯蓄組合
青森地区支部理事
昭和62年4月～平成16年3月

平山 順一氏 自治功勞
今別町議会議員
昭和59年3月～平成16年3月
厚生文教常任委員長
昭和63年4月～平成2年3月
総務企画常任委員長
平成6年4月～平成8年3月
建設産業常任委員長
平成8年4月～平成10年3月
議会運営委員会委員長
平成12年4月～平成14年3月
議会広報委員会委員長
平成14年4月～平成16年3月

川村氏は昭和40年から現在まで41年間の長きにわたり、各種統計調査員として迅速かつ正確、他の模範であると共に、統計の普及充実に貢献し、これらの功績が認められました。また、嶋中賢一氏（大川平）は昭和26年から現在まで55年間の長きにわたり各種統計調査員及び指導員として統計の普及発展に貢献され、この度、財団法人全国統計協会連合会長表彰を受賞されました。

川村弘江氏 総務大臣表彰 嶋中賢一氏 全国統計協会連合会長表彰



左から川村弘江氏、小鹿町長、嶋中賢一氏

平成18年度 いまべつ 産業と文化のまつり



買い物客で賑わう販売コーナー

10月29日、産業と文化のまつりが開発センターで開催され、大勢の人出でにぎわいました。
 オープニングでは「つがる海峡ちやか親童・北天舞悠」による力強いよさこいソーランで開幕し、同センターホールでは、生け花や水墨画、粘土細工、盆栽、小中学生の書道などを展示、ピアノ演奏やコーラス、大正琴など日頃の成果を披露しました。



児童展示コーナー！
お孫さんのはありましたか？

さまざまな体験をしていました。
 野外会場では、農業・漁業団体や商店などがテントを貼り、地元の加工品などが販売され、大好評の鮭鍋に大勢の方々が秋の味覚を味わっていました。
 他には、金魚すくいやビンゴ大会、中でも人気があったのは帆立つりコーナーとドップ引き大会。帆立つりでは、ひもにフックを付けて、帆立を釣り上げる姿は皆真剣。ドップ引き大会も同様、ひもの先に繋がれた商品を求め、自らの運と引きの強さを信じていざ勝負。会場では、大きな笑い声や、買い物客で賑わいました。



コーラス：美しい歌声にウットリしてしました。



何が当たるか楽しみなドップ引き、みなさん真剣です！



仲良し4人組！手には必ず何か？



金魚すくいのプロ！

展示作品をじっくり見学する皆さん



ビンゴ！あー、？……

町職員の給与等の状況をお知らせします

町では、今年度も地方公務員給与の適正化を目的とし、町民の皆さんに町職員の給与等を公表します。

今別町職員数の状況

ア 部門別職員数の推移（各年4月1日現在）

区 分 部 門	職 員 数 (人)	職 員 数 (人)			対 前 年 増 減 数 (人)		
		平成16年	平成17年	平成18年	平成16年	平成17年	平成18年
福 祉 関 係 一 般 行 政 部 門 除 外	議会	2	2	2			
	総務企画	22	20	19	2	2	1
	税務	6	6	5	3		1
	労働						
	農林水産	9	10	9	3	1	1
	商工	1	6	4	1	5	2
	土木	7	6	4	1	1	2
小計	47	50	43	2	3	7	
福 祉 関 係	民生	16	5	5	1	11	
	衛生	4	5	5	1	1	
	小計	20	10	10	2	10	
一 般 行 政	67	60	53	4	7	7	
特 別 行 政	教育	9	10	9		1	1
	小計	9	10	9		1	1
公 営 企 業 等 会 計 部 門	病院	7	6	6		1	
	水道	2	2	3			1
	その他	30	31	30		1	1
	小計	39	39	39			
総 合 計	115	109	101	4	6	8	

職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いている。

イ 部門別増減事由一覧

区分	部門	職 員 数		対前年	主な増減理由
		平成17年	平成18年		
一般行政 部 門	議会	2	2		
	総務	20	19	1	事務合理化(コンピュータ化)
	税務	6	5	1	"
	労働				
	農林水産	10	9	1	整備事業等の完成
	商工	6	4	2	観光施設の一部委託
	土木	6	4	2	建設事業の縮小
	民生	5	5		
小計	衛生	5	5		
	小計	60	53	7	
特 別 行 政 部 門	教育	10	9	1	学校事務統廃合
	小計	10	9	1	
公 営 企 業 会 計 部 門	病院	6	6		
	水道	2	3	1	業務拡大
	その他	31	30	1	嘱託職員対応
	小計	39	39		
合 計	109	101	8		

ウ 年齢別職員構成状況

(平成18年4月1日現在)

区 分	職 員 数
20 歳 ~ 23 歳	
24 歳 ~ 27 歳	2
28 歳 ~ 31 歳	5
32 歳 ~ 35 歳	1
36 歳 ~ 39 歳	1
40 歳 ~ 43 歳	1
44 歳 ~ 47 歳	26
48 歳 ~ 51 歳	27
52 歳 ~ 55 歳	23
56 歳 ~ 59 歳	15
計	101

エ 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

定員適正化目標（数・率）

計 画 期 間	数 値 目 標
始 期	終 期
平成17年4月1日	平成22年3月31日
日14.7(16人)削減	

平成22年4月1日現在における定員の数値目標

14.7 (16人) 削減

定員適正化計画の年次別新抄状況（実績）の概要（各年4月1日現在）

区分	部門	17年					18年		19年		20年		21年		22年		(参考) 数値目標
		計画年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	17年~22年 計									
全部門	減 員		5	2	1	4	4	16									
	増 員																
	差 引		5	2	1	4	4	16									14.7
	職 員 数	109	104	102	101	97	93										

(注) 1 計画期間は、平成17年～平成22年の5年間である。

今別町職員数の状況

1. 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率B/A
平成17年	3,977人	2,348,559千円	32,956千円	617,372千円	26.3%

2. 職員給与費の状況 (普通会計決算)

区分	職員数	給与費				一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
平成18年	75	328,993	23,763	100,098	452,854	6,038

(注) 1 職員手当では退職金を含まない。 2 給与費は当初予算に計上された金額である。

3. ラスパレイス指数の現況 (各年4月1日現在)

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
ラス指数	98.80	97.84	92.26	90.40	90.80

4. 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況 (平成17年4月1日現在)

一般行政職		技能労務職	
平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
50.4歳	378,500円 (375,200)	48歳	360,600円 (345,100)

国の基準に基づく給料表の平均給料月額で、()内は平成16年度から今別町独自の2~5%の減額で支給しています。

5. 職員の初任給状況 (平成17年4月1日現在)

区分	決定初任給	採用2年経過日給料額
一般行政職	大卒	170,200円
		(166,796円)
	高卒	138,400円
		(135,632円)

国の基準に基づく平均給料月額で、()内は平成16年度から今別町独自の2%減額の初任給です。

6. 職員の経験年数別、学歴別平均給料額の支給状況

(平成18年4月1日現在)

学歴	経験年数	10年	15年	20年
			280,992円	341,760円
一般行政職	大卒			323,600円
	高卒			345,120円
技能労務職	全学歴			

国の基準に基づく給料表の平均給料月額で、()内は平成16年度から今別町独自の2~5%の減額で支給しています。

7. 一般行政職の級別職員数の状況 (平成18年4月1日現在)

基準的な職務内容	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
	主事	主査	主任 主査	主幹 次長等	次長 次監等	参事 課長等	
職員数(人)		1	2	46	8	8	65
構成比(%)		1.5	3.1	70.8	12.3	12.3	100.0
1年前の構成比(%)			1.5	0	27.3	54.5	

今別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数(技能労務職、医療職等を除く人数)です。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

8. 特別職の報酬等の状況 (平成17年4月1日現在、期末手当は平成16年度の実績)

区分	給料				報酬		
	町長	助役	収入役	教育長	議長	副議長	議員
月額	575,000円	495,000円	462,000円	454,000円	263,000円	225,000円	215,000円
期末手当	6月期1.7月分				12月期1.6月分		
退職手当	算定方式 町長:100/550・助役100/320・収入役:100/290 (各率に在職年数を乗じる)						支給時期 任期満了毎

職員手当の状況

1. 期末手当・勤勉手当 (平成17年度)

	期末手当	勤勉手当
6月期	1.4月分	0.725月分
12月期	1.6月分	0.725月分
計	3.00月分	1.45月分

支給割合は国と同じです。

平成16年度から期末・勤勉手当は、今別町独自の20~35%以内の減額で支給しています。

2. 時間外勤務手当

区分	平成16年度	平成17年度
支給総額	621千円	255千円
職員1人当たり支給年額	9千円	2.6千円

3. その他の手当 (平成18年4月1日現在)

区分	
扶養手当	・配偶者.....13,000円
	・配偶者以外 2人目まで.....6,000円 (ただし、配偶者がいない場合は そのうち1人について.....11,000円)
	3人目以上.....5,000円
	満16歳から22歳までの子 に加算となる額.....5,000円
住居手当	・持ち家.....3,000円
	・借家(貸間) 最低額1,000円~最高額27,000円
通勤手当	・交通機関利用者.....4,410円~50,000円
	・交通用具利用者.....1,000円~11,000円

4. 退職手当

支給率		
	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.5月分	30.55月分
勤続25年	33.5月分	41.34月分
勤続30年	41.5月分	50.7月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分
1人当たり平均支給額 24,205千円 (勤奨・定年)		
(平成17年度末)		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に

退職した全職員に係る職員に支給された平均額である。



教養訓練を行う町団員



火災予防パレードを行う消防車両

秋の火災 予防運動

今別町消防団（横岡 巨団長）では、10月22日、消防車両による町内火災予防パレードを行い、防火を呼びかけました。パレード終了後、海峽あすなろ公園（河川公園）において、上磯地区移動教養訓練が開催され、参加した団員は「消防団員として現場では機敏さが求められるため、日頃の訓練を大事にしたい」と話していました。



消火活動を実体験する村元地区住民

初期消火は地元住民で！

村元地区でも消火訓練

10月22日、第7分団主催の消火訓練が村元地区において行われました。日頃から火災予防を心がけている地域住民30名以上が参加し、今別分署職員から消火器の仕組みや取扱いの説明の後、実際に住民が消火器を使って訓練を行いました。参加した住民の中には、初めて消火器を使った方もおり、「大変良い経験が出来た」と初期消火の必要性を再認識し、万が一のために備え、真剣に取り組んでいました。



ペタンクを楽しむ参加者

ペタンクで交流会

11月14日、開発センターにおいて、かもめ作業所や婦人会、日赤奉仕団の方々23名が参加し、交流会が開催されました。

この交流会は、地域の交流を目的に、今年で4回目を迎え、ペタンク競技終了後、婦人会が作った豚汁やかもめ作業所のみなさんが焼いたマドレーヌを全員で食べながら交流を深めました。

試合結果は、日赤奉仕西田分団が見事1位に輝きました。

鮮やかなメルヘンテント

コミュニティ事業で購入

この度、平成18年度自治宝くじコミュニティ助成事業で、6町内会ネットワーク入りメルヘンテント（後町、寺町、新町、八幡町、西田、団地）を購入しました。

購入されたメルヘンテントは、荒馬まつりや産業と文化のまつりなど各種イベントで利用されています。そのほかこの事業で購入されたものは、照明器具3基、電動ドリル2台となっています。



イベントで利用されたメルヘンテント

東青地区精神障害者 家族会学習交流会

11月10日、町開発センターにおいて東青地区精神障害者家族会の交流会が行われました。当日は約100名の参加者が集まり、午前は東地方保健所の反町医師による「たばこの健康被害」について講演会が行われ、参加者は喫煙問題について真剣に考えていました。

午後は「楽しく体を動かそう」と、青森県レクリエーション協会の福土さん指導のもと、みんなでゲームやダンスを楽しみ、終始笑い声が耐えない楽しい時間を過ごしました。年に一度行われる交流会では、お互いの悩みや近況を報告しあい、話に花が咲いたようです。来年は外ヶ浜町平館地区での再会を誓い、閉会となりました。



みんな笑顔で、楽しい時を過ごしていました！

英語コンテスト開催

スピーチの部で
相内香穂さん3位入賞

11月9日、市内青森明の星高校（渡邊一校長）主催による英語スピーチコンテストが同高で開催されました。

教科書の内容を暗唱する部と自作の文章をスピーチする部の二部門が行われ、東青地区と上北町の中学校14校から31人が参加し発音や表現力を競いました。

暗唱の部では山田沙紀（2年）さんが5位入賞、スピーチの部では、相内香穂（3年）さんが3位、山内麻未（3年）さんが4位に入賞しました。



笑顔で入賞を喜ぶ
左から山田沙紀さん、山内麻未さん、相内香穂さん

国民体育大会で少年男子6位入賞

チームワークで 掴んだ6位入賞

第61回国民体育大会フェンシング競技が兵庫県で開催され、少年男子が6位入賞しました。

この大会は、県で選考された青森県代表選手が、東北ブロック予選に出場し、上位2県が国体への出場権を得ることができるとのことです。

試合前に選手達は「昨年以上の成績を残したい」と抱負を語り、国民体育大会に臨んだ選手たちは、一人ひとりの実力ももちろん、普段以上の力と最高のチームワークを発揮し、6位入賞を果たしました。

入賞を決めた当日は、今別高校60周年記念式典が同高で行われおり、集っていた関係者は大喜びで健闘をたたえました。

東北少年フェンシング大会でも健闘

第16回東北少年フェンシング大会が黒石市で開催され、中学校男子の部で猪ノ口貴史くん（今中3年）が5位、澤田大樹くん（今別中3年）が8位入賞しました。

この大会は、全国各地からトップレベルの選手が出場する中で、町ジュニアフェンサーも大健闘しました。



入賞を喜ぶ左・澤田大樹君、右・猪ノ口貴史君



見事6位入賞を果たした、左から下川選手、神選手、澤田選手、戸嶋監督



こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～



年末年始、お酒の量も増えますね……

今年も残すところあとわずか。楽しかったことも、忘れてしまいたいことも、すべてお酒に流してしまいたい・・・さあ、飲んでしまおう!!という方、要注意です。過量のアルコールは脳卒中を始めとした深刻な健康被害を引き起こします。青森県人としては決して人事ではありません。

「酒は飲んでも呑まれるな。一合こえたら要注意！」を合言葉に、お互いに飲酒を強要することなく、楽しく忘新年会シーズンをすごしましょう。

アルコール1日の適量



第2回健康教室参加者募集!!

第1回目はウォーキングを中心に開催しましたが、みなさまのご要望にお応えして、第2回健康教室を開催いたします。今回の内容は、「冬でも室内でできる運動・リラクゼーション」です。寒くて体を動かすことがおっくうになってくるあなたに、運動不足解消のヒントをお伝えします。メタボリック症候群をはじめとする生活習慣病は日々のちょっとした運動で改善するものです。

開催日時：12月15日(金)午前10時(受付9時30分～)

場 所：今別町開発センター

内 容：室内で体を動かしますので、動きやすい服装、内履き、水分、バスタオルをご用意ください。

申込方法：電話で町民福祉課保健師までお申し込みください。

電話0174-35-2465



就学時健診 子育て講座 ～たばこの害をみんなで考えよう～



11月1日、今別小学校において、来年度、小学校へ入学する児童の健診が行われ、同時に保護者の方へ保健師による「たばこの害」と題した子育て講座が行われました。小学校入学後の早期のうちからたばこの害について学習する必要があるのは、できるだけ早いうちからたばこの害の知識を得て、自分自身で「吸う」か「吸わない」かの選択をするための考える力を養うためであることを学びました。また、家庭においても、たばこを吸う環境が「普通」となり、子ども達が「自然」にたばこを吸うことを覚えていかないうち、家族全員で子どもをたばこの害から守っていくことが大事であることを確認していました。

いのちのお話出前講座 ～たったひとつの命～



11月21日、今別小学校において4年生を対象に保健師と助産師による「いのちのお話」出前講座が開催されました。当日は性教育プロジェクト「あかり」から5名の助産師を講師に迎え、「いのちの始まり」から「いのちが生まれるまで」や、お産の様子を模型で実際に体験しながら学びました。また、人形を使い、赤ちゃんの重さや感触を体験した子供たちは「赤ちゃんって小さい、重い」など命の重さを感じていたようでした。

参加した保護者との話し合いの中で「家庭での性教育の難しさ」について話題が出され、日ごろからの親子の対話が自然な性教育につながっていくのだということを確認していました。

山林と人とのかかわり

—— 今昔 —— (九)

一 皆伐一斉人工造林の時代

第二次大戦末期、国内のあらゆる物資が欠乏し、ガソリンの不足を松の根からとった油で補う事さえありました。

戦時中、昭和18年の県下のヒバの伐採量は63万³m³。それまでの単年度の最高記録です。しかし、戦後の復興と高度経済成長期の伐採を比べたらわずかなものです。(昭和46年のピーク時は270万³m³) 大都市圏での高層ビル、地下鉄、重工業の工場群、新幹線など建設ラッシュです。

木材需要はつなぎのぼり。木材価格もたちまち倍増です。この需要にこたえて林野庁は、これまでの山林開発の規制を取り除き、「生産力の向上を目指す」方針となりました。奥山までヒバ、ブナ林などを皆伐し、その跡地に樹種更新と云って成長の速いスギなどを植えつけるのです。森林軌道は取り払われ、トラックやブルドーザーの往復する大型林道の建設。崖地からの土砂

が谷間に崩れ落ちれば、沢が埋まる。皆伐のあと、雨水が増水して流下する河川の被害を防ぐため、ダムやえん堤が作られ山と川の様相は一変しました。こうして昭和20年代後半から約30年間、青函トンネル工事もあり、経済的な潤いに地元も賑わいました。

営林署長さんなども宴会の主役。豊かな木材資源の伐採景気は、金銭感覚を麻痺させることもあったか知れませんが、不正な木材取引もあり、屋根材の払い下げも使用数の倍で申告したものだ、という声もあります。またこの拡大一斉造林事業にはたくさんの労働力(人手)も必要でした。企業の眼からすれば、均衡を欠いた予算の仕組みも指摘されます。造林への予算の集中(当時、スギの40年もの材の売値が一本二百円なのに、造林用のスギ苗が一本二百二十円の納入価格など)を誰も怪しまなかった。

そしてそのあとの育林のための、蔓切りや、枝打ちなどの予算が削られ、それが現在の誰の目にも明らかで、手入れないスギ林の荒廃になったとも言われます。

伐採量は年毎に増えていきますが、たとえば増川営林署の収支を見て、昭和50年から赤字となり、その後逆転することはありませんでした。木材価格が高くなったことや、次第に木造住宅建設が下火になったこともありましたが、決定的な打撃となったのは(スギの価格破壊をおこす)昭和50年代の外材の緊急輸入とそれに続く、外材の自由化というのが通説。

利益と効率優先のもうかる国有林をめざした「拡大一斉造林」は結局、林業の切捨てを招きました。私たちの地域生活基盤のひとつである林業の再生をどうしたらよいでしょうか。



澤田 瑞穂さん
(今別八幡宮宮司)

除雪作業中のお願い！

①路上駐車はしないで下さい。

除雪作業は交通の少ない夜間及び早朝作業が主となり、降雪・地吹雪中の作業の為視界も悪く非常に危険。また、駐車されている部分が除雪できなくなり、これが交通障害の基となっている場合が一番多い。

②除雪車が作業中の場合30m以内に近寄らないで下さい。

除雪車は重機械であり前方でも10m以内に入ると死角となります。又、雪の中に入っている碎石・木材等が飛散する場合がありますので、30m以内には近寄らないで下さい。

③除雪作業は「右側走行除雪」も行います。

風向・道路条件・雪提条件等で右側を走行しながら除雪を行う場合もありますので徐行して下さい。除雪機械は作業中必ず「黄色回転灯を点灯して走行しています。」

④除雪作業による物件破損・住民の負傷等が発生したら速かに産業建設課・建設まで連絡願います。

特に物件破損は発生と同時に速やかに報告がないと原因究明も困難となり、保証対象外となります。

⑤路上で自動車の故障等で運行できなくなったら目印を立てて下さい。

放置されますと地吹雪・降雪等で雪の中に自動車が埋もれて、除雪車が発見できず、衝突する危険があります。(目印はできるだけ高く立てて下さい。)

⑥道路に雪を捨てないで下さい。

道路除雪は全部機械力で行いますので、工法上路側に雪が溜り、一定量になれば運搬排雪しますので通路等に入った雪は路側に積んでおいて下さい。

⑦道路を広く使いましょう。

私有物件(木材等)が路上にはみ出していると除雪車が衝突又は巻き込みの為重大な事故発生の原因になります。

連絡先 今別町役場 産業建設課・建設担当 TEL0174-35-2001 (内線 274)





高桑うめさん (大川平)



おばあちゃんのお話

第9話

「満人職員に感謝」 前編

日系家族全員

査員の渡辺さん、これ又老人、結局満人職員を頼るしかなかった。15日満系と日系家族全員、夕食後理事宅集合、私は生活の知恵等全然なく、皆に従うのみです。満系の屯さん通訳、この人は私の夫の部下で経理を担当する優秀な職員です。屯さんの話では今夜中にも暴動の恐れがあるの、一刻も早く避難先を決める事、等々他の職員にも指示して、大車は三台雇い職員達が守って避難先まで送る。その中、屯さんの交渉で克山街のつる屋旅館の太夫間に避難明朝出来るだけ早く出発と決定した。会社の金庫の現金を各家族の頭割り、大人、子供半額、その分会社全部職員で平等に分け、各家庭の財産は持てるだけ持つ事。日系家族全員21名です。金目の品以外は満人職員にやる事等、朝まで満人職員が見張り、暴民達から職員にやる事等、朝まで満人職員が見張り、暴民達から守る事で解散。しかし、何

起床ラッパで目を覚まし、消燈ラッパで就寝 国民を守ってくれる関東軍独立守備隊。克山街の日本人達は安心して頼りに暮らしておったのです。日本人誰も忘れる事の出来ない敗戦、その年の8月15日前後の大雨、毎日が空の底が抜けた程の雨量、雷は窓ガラスが割れる響き、若い私毛も何か不吉な予感でした。頼りの夫は召集、産後の世話に来ていた義姉も興安街に帰り、産後20日足らず、そこへ8月15日の玉音放送、信じられようか神の国日本が負けるなんて吃度流言だ、でもその日の午後から満人が一変してしまつたのです。

関東軍は8月15日前に解散し、兵舎は空っぽだ。日本人は軍の玉除けにされたんだ、満人は関東軍が解散する前から判っていたさうです。男は皆召集、老いた高野理事長、病人の鮎川さん穀物検

からどのように手を付けてよいか判らない。征弘はずやすや眠っていた義姉が造ってくれたリュックにオシメを出来るだけ押し込んだ。まず大金、普通の靴なら多く入らない、編上げなら倍の札が入る、寒さに向っているが、今はまだどの靴でもよい。札を下敷き変り、されども札が残る。若しやもう一度この社宅に帰れるかもしれない。と水洗トイレのタンクに札束をいっぱい入れた。衣類は風呂敷二個、眠ってる征弘をオシメの上に乗せて首が出る程に征弘の衣類を足したり、出発する時の予行た、リュックの征弘を前から肩から非常袋何を詰めたか記憶にない。その晩遅く事件が起つた。その現状を見た者として、思い出したくないし、書く事等出来ません。その晩頼りの鮎川さん、隣の宮本さんの奥さんは自害、二人の仲間を亡くし、その遺体の甲いもせず早朝社宅を後にしたので。つる屋旅館まで約2キロ、遠く感じ後ろ髪引かれる思いとはあんな気持なのでしょうか?…つる屋旅館での生活は次号で綴りたいと思います。

水道にも冬じたくを

＝忘れず水抜き凍結防止＝

①凍結を防ぐには!!

水道管や蛇口には布切れや毛布、あるいは専用の保温材を巻き、濡れないようにビニールを巻く。
水道メーターのボックス内には、布切れなど保温材をビニール袋に入れて保護する。
水抜き栓、不凍栓をご使用の家庭では就寝時や留守にすると忘れずに水抜きし、蛇口を開いておく。

②凍結して水がでないとき!!

蛇口を開け、凍った部分にタオルか布をかぶせ、蛇口の方からぬるま湯をまんべんなくゆっくりかける。
水抜き栓自体が凍ってハンドルが動かないときは、無理に回さずハンドルの軸からぬるま湯で加温する。

③破裂したり、ひび割れしたとき!!

メーターボックス内に止水栓があるときは、ハンドルを右に回して水を止める。
止水栓がないときは、破裂またはひび割れした部分に布やテープなどで応急処置をしてから、役場水道担当または、町の公認水道業者に連絡して修理する。

- 相内管工設備 35-3422
- 田中水道 35-2675
- 武蔵屋 35-2677
- みちのく設備 35-2677
- 上磯衛生社 35-2179

連絡先 今別町役場 産業建設課・水道担当 TEL0174-35-2001 (内線 274)

母子・寡婦福祉資金の貸付予約を受付

青森県では、母子家庭などのお子さんが、修学・修業などの際に必要な資金の貸付の申込を受け付けしています。なお、貸付の限度額や償還方法、償還期間などの詳細については東地方健康福祉子どもセンターまでお問い合わせ下さい。
時期 平成19年2月28日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く) 修学資金の申込みは随時受け付けしています。
対象者 来春、お子さんが小・中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、各種学校へ進学する母子・寡婦家庭の方(小・中学校の就学仕度資金は所得税非課税の場合に限る)
申請・問合せ 東地方健康福祉子どもセンター福祉部 017-734-9950

◆行政相談所開設のお知らせ◆

とき 平成18年12月9日(土)
午前10時～午後3時
ところ 中央公民館

行政相談委員 成田リセ子
☎35-3860

当日、用事等で来所できない場合は、自宅でも受付してしますのでお気軽にご連絡下さい。

相談は無料で秘密は守ります。

戸籍の窓口

(10月1日から31日の届出分)

お誕生おめでとうございます

小鹿 学海(智秋) 村元
上山 果歩(竹林) 大川平

ご結婚おめでとうございます

(木村 涉(浜名)
千葉 依未(青森市)
西村 秀夫(山崎)
千葉 美恵子(山崎)
鈴木 格(西田)
山本 菜緒(平内町)

お悔やみ申し上げます。

小鹿 忠造(83) 村元
平山 ヒロ子(66) 大川平
伊藤 末三郎(81) 西田
相内 喜信(91) 二股

掲載を希望されていない方は、届出での時に町民福祉課へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。

今別の姿(平成18年10月31日現在)

面積 125.27km²
人口 3,921人(-6)
男 1,853人(-3)
女 2,068人(-3)
世帯数 1,659(-2)

()内は前月比

駐在所からのお知らせ

○年末年始の犯罪・交通事故を防止しよう!

(1)犯罪のない町にするため、次の点に注意して下さい。

- ・街頭犯罪・侵入犯罪の防止
自転車・自動車及び住宅の鍵掛けを忘れないで。
- ・振り込め詐欺に遭わないために
一人で振り込まない、警察に相談を。
- ・子ども・女性の連れ去り防止のために
付いて行かない、逃げる、大声で叫ぶ。
- ・金融機関、コンビニ強盗の防止
カラーボールの活用、すぐに110番。

(2)「3急」運転で交通事故防止

- ・急発進をしない。
- ・急ブレーキをかけない。
- ・急ハンドルを切らない。

この時期は降雪のほか、年末の慌ただしさや年始の慶び等で、気持ちが落ち着かなくなります。

しっかり気を引き締めて、犯罪や交通事故のないようにしましょう。

お問合せ先 外ヶ浜警察署 22-2211
今別駐在所 35-2029

交通事故で困った時、困った人のご相談は…

相談無料 青森相談センターへ! 017-722-1025

(社)日本損害保険協会 青森相談センター

相談日:月曜日～金曜日(除く:土・日曜、祝)

9:00～12:00 13:00～17:00

専門の相談員がご相談に応じます。

損害保険一般のご相談も受付します。

青森市堤町2-1-7 TAP堤町ビル4F

弁護士無料相談もあります。詳しくは下記のとおり

青森相談センター受付となります。

毎月第4水曜日午後1時～4時 予約制・要面談

注 弁護士相談は、予め前日までに予約し、手持ち資料等ご持参下さい。

まちの行事予報 12/1～1/10

イ マ ダ ス

日 曜	行 事 予 定 (場 所)
3 日	今別町総合福祉展 (開発センター)
16 土	町民フェンシング大会 (町立体育館)
22 金	今別小中学校終業式
25 月	・町民税第3期納期限 ・国民健康保険税第5期納期限 ・介護保険料第5期納期限
28 木	官公庁仕事納め
1 月	
1 月	元旦
4 木	官公庁仕事始め

(役場仕事納め、仕事始めは通常時間)

◇自衛官追加募集◇

○種 目

2等陸・海・空士(男子)

○概 要

2年又は3年の任期制隊員(継続勤務可)

○応募資格

平成19年4月1日現在、18歳以上27歳未満の男子

○試験日(受付期間)

第1回:平成18年12月10日(日)(～12月1日まで)

第2回:平成19年1月21日(日)(～1月12日まで)

第3回:平成19年2月18日(日)(～2月9日まで)

第4回:平成19年3月4日(日)(～3月23日まで)

採用予定数に到達した時点で、それぞれ以降の試験は実施しません。

○試験場所:陸上自衛隊青森駐屯地(青森市浪館)

○問い合わせ先 自衛隊青森地方協力本部青森募集案内所(017-783-2995)

子どもと一緒に通学路や遊び場を点検し、朝と夜の明暗についても確かめ、危険箇所の把握に努めましょう。

③2 町のたから



相馬 佳典さん

(八幡町)の長男

怜れん

ちゃん

「体も心も大きくなあれ」

頼りがいのある人に育ってね

(母 玲子さんの願い)

町に住所を有する3歳以下(平成14年4月2日誕生日以降)の子どもさんを掲載しています。

町税は町づくりの貴重な自主財源

☆税の納め忘れありませんか!☆

平成18年度分の町税(国保税含む)の納期限が過ぎております。納税者の皆さん今一度、納税通知書を確認して下さい。まだ納めていない方は、役場及び指定金融機関に納めて下さい。

町税は道路や福祉、教育等のために使われる貴重な自主財源です。また、国保税は町でお医者さんに支払う医療費負担分の財源となる大切な税金です。

町民の身近なところで使われ、豊かな暮らしを守るのが町税です。町税(国保含む)を未納のまま放って置きますと滞納整理の対象となって、給与や預貯金等が差し押さえされることもあります。

どうか納税にご理解とご協力をお願いします。

※申し出による分納も出来ますので、お気軽に総務課税務担当までご相談下さい。

(TEL35-2001)

編集後記 わのひろりゅう

11月も木枯らしに吹かれながら過ぎ去り、今年も残すところあと1カ月となってしまいました。

毎年、口癖のように「今年こそは……」と年始を迎え、気が付くと今年もあと少し……。毎度の事ながら、広報の締切りに追われ、焦る気持ち先行するだけで、全く進まない原稿。こんな私に「ネタをける」

今年には豪雪に始まり、1月末には二股地区で1m50以上の積雪、毎日雪かきに追われた人も多かったです。

また、3月には昭和33年11月にスタートし、長年に渡り町民と共に歩んできた「広報いまべつ」が創刊500号を達成し、今後町民と行政をつなぐパイプ役として、これからも、より親しまれる情報紙を目指して町の歩みを記録し続けたいと考えています。

しかし、記事が無いのは現実で……。来年へ向けて私に気合をお願いします。元気があれば、何でも出来る!平成19年へ向けて「い(1)<(9)ゾク、」フン・ツッ……。テン。ノックアウトかよ?

冬だけに寒かったですね。《スマン!》みなさんにとって今年はどうな年でしたか?12月も残り少なくなり、忙しい日々を過ごしていると思いますが、健康に留意し、新年を迎えられますよう祈念申し上げます。広報いまべつにお付き合いいただき有難うございました。

来年は「新広報いまべつ写真集を発行したいな」と勝手に考えていますので、楽しみに待っていて下さい。(まー無理だね)

『それではまた……、へばなめ』

《平寛》